

セキ
責

主は束 (セキ)を簡単にした形。束は、木にとげの形を表わした ㇿ を加えた字。とげのある木。“とげで刺す”“せめる”意に用いる。

貸した金(貝)を返せと言ってせめること。

せめる(当然なすべきことを求める)

義務(当然なすべきことを行なう)

例 責任・責務・職責

セキ
積

責任として納入すべき稲

租税(本義)

つむ(租(且の項参照)の本義が“稲をつむ”ことで税の義に用いられ、逆に“税”が本義の積が“つむ”の義に用いられるのはまことに興味のあることである)

かさ 例 容積・体積

セキ
績

糸をとるのに当然なすべき仕事

つむぐ 例 紡績

仕事 例 成績・功績

注 繊維をより合わせて一本の糸にする仕事、これで麻でも羊毛でも糸になる。錘^{つむ}という重りを用いるので“つむぐ”と言う。

セキ
× 積

石が積み重なっている所

かわら(川原)

シ
漬

水で責める(水責め)

水につける つける 例 みそづけ 味噌漬

水につかる 例 沈漬

問 1 次のセキを漢字で書きなさい。

セキ 載 実 セキ 業 セキ 容 セキ 職

答 1 積 績 績 積 責